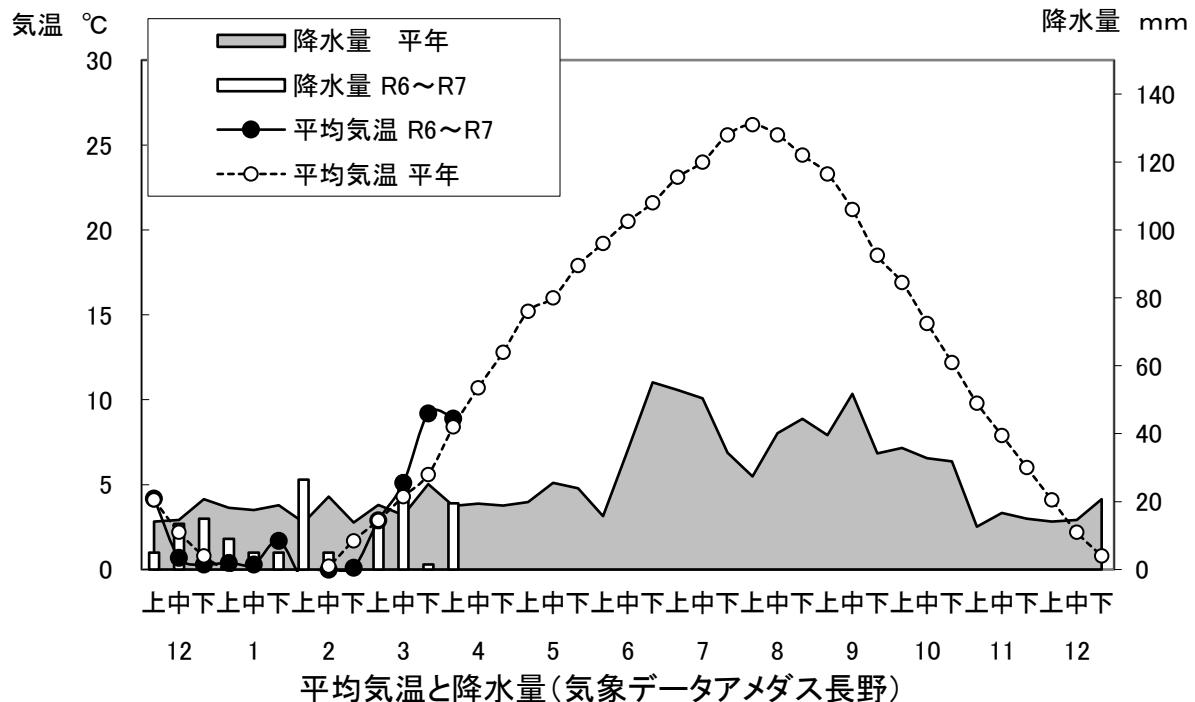


農作物の生育状況（4月15日現在）について

令和7年4月15日
長野農業農村支援センター

【気象データ】



【麦類】

麦の生育進展は平年より早く、昨年並み～昨年よりやや遅い。12月中旬以降には種された麦は茎数が不足している。

千曲市の11月上旬は種の「シュンライ」は茎数550本/m²程度であり、3月12日に幼穂形成期、4月1日に茎立期となった。葉の黄化は新葉の展開に伴い目立たなくなった。千曲市の10月下旬は種の「ユメセイキ」は茎数1,000本/m²程度であり、3月31日に幼穂形成期、4月6日に茎立期となった。ほ場の一部に萎縮病による生育の停滞が見られる。

長野市の「しゅんよう」は、10月下旬は種が茎数700本/m²程度、11月中旬は種が茎数500本/m²程度であり、いずれも3月31日に幼穂形成期、4月7日に茎立期となった。1月上旬は種は茎数400本/m²程度であり、4月14日に幼穂形成期となった。

長野市の「ハナチカラ」は、11月上旬は種は茎数800本/m²程度であり、3月31日に幼穂形成期、4月12日に茎立期となった。12月初旬は種は茎数500本/m²程度であり、4月9日に幼穂形成期、4月15日に茎立期となった。1月上旬は種は茎数300本/m²程度であり、4月14日に幼穂形成期となった。3月下旬からオオブタクサの出芽が確認されており、4月上旬にMCPソーダ塩が散布された。

【果樹】

りんご「ふじ」の発芽は長野市共和地区で3月25日、飯綱町倉井で4月2日と平年より2～4日早く、長野市共和の展葉が4月6日で平年より3日早くなっている。もも「川中島白桃」の発芽は長野市川中島で3月25日昨年より4日早くなっている。あんず「平和」の開花は千曲市で4月2日と、平年・昨年比ともに3日早くなった。

【野菜】

(1) アスパラガス

平坦部の半促成作型の施設は3月上中旬より萌芽～収穫中。露地作型について今後温度も上がり、降水量も順調にあれば4月20日ごろより萌芽が増える見込み。

(2) 果菜類

定植後の加温状況により生育差がみられる。半促成加温作型トマトの生育は昨年並みに推移している。4月中旬より収穫開始。トマトの後作について、抑制作型のキュウリの定植は7月上旬より開始。

【花き】

長野市のシャクヤクは、草丈 50 cm～60 cm程度となっている。リンドウについては、草丈 15 cm程度まで伸びている。

【畜産】

永年性牧草は伸長期、草丈は 5cm 程度まで伸びている。